

一般社団法人日本粘土学会 平成 29 年度第 4 回常務委員会議事録

日 時：平成 29 年 8 月 26 日（土）13:00～15:00

会 場：早稲田大学西早稲田キャンパス 55 号館 N 棟 1 階 第二会議室

出席者：常務委員(13名)：八田珠郎、小暮敏博、千野裕之、河野元治、日比野俊行、蛭名武雄、丸茂克美、田村堅志、鈴木正哉、志々目正高、篠原也寸志、小口千明、太田俊

—

委任状(1名)：佐藤 努、横山信吾、和田信一郎、鈴木憲子、手束聡子

監 事(1名)：山崎淳司

事務局：土信田裕子

成立の確認：常務委員総数 18 名の過半数 10 名

出席常務委員 13 名、委任状提出常務委員 5 名、合計 18 名で常務委員会の開催は成立

審議事項

1. 平成 29 年度事業報告

各担当委員より、平成 29 年度事業報告書の各事業項目について下記のとおり説明が行われ、審議の結果、承認された。

(1) 学術雑誌の編集と発行：1) 日比野編集委員長より、粘土科学の編集と発行状況について報告がなされた。2) 蛭名編集委員長より、Clay Science の編集と発行状況について報告がなされた。

(2) 研究発表会・見学会等の開催：河野常務委員長より、第 60 回粘土科学討論会（九州大学）の実施状況について報告が行われた。次に、丸茂実行委員長より、第 61 回粘土科学討論会（富山大学）の準備状況についての説明が行われた。

(3) シンポジウム・セミナーの開催：田村企画委員長より、第 60 回粘土討論会でのシンポジウム開催報告及び第 61 回粘土討論会でのシンポジウム開催準備状況について報告がなされた。

(4) 参考粘土試料：鈴木参考粘土試料委員長より、参考粘土試料の頒布状況について報告がなされた。

(5) 広報：河野常務委員長より、ホームページの運用状況について報告がなされた。

(6) 渉外：河野常務委員長より、渉外関係の活動状況についての報告がなされた。

(7) 表彰：河野常務委員長より、平成 28 年度会賞等の表彰の報告および平成 29 年度の募集と選考について説明が行われた。

(8) 研究促進：河野常務委員長より、研究グループ援助事業の継続を行っていることが報告がなされた。

(9) 庶務：篠原庶務委員より、他学会等との連絡及び協力の報告、関連学協会への共催及び協賛の

報告、会員動向についての報告が行われた。

(10) 学会誌等の電子化推進：河野常務委員長より、国立情報学研究所電子図書館事業(NII-ELS)に掲載されている電子データの J-STAGE への移管と公開の完了、ホームページ新バージョンの完成と運用開始、「粘土科学」及び「Clay Science」の4月からの J-STAGE 登録と公開開始について報告がなされた。

(11) 常務委員会及び理事会：河野常務委員長より、常務委員会及び理事会の開催状況が報告された。

2. 平成 29 年度収支決算報告及び監査報告

志々目会計委員より、平成 29 年度収支決算の内容と実質決算が 357,907 円の赤字となることが説明された。そのため、学術振興積立金より 357,907 円を引当金として一般会計に組入れることが提案され、審議の結果、引当金の組入れを含めて収支決算内容が承認された。次に、山崎監事より監査報告が行なわれ、会計状況がきわめて厳しい状態であることが指摘された。

3. 平成 30 年度事業計画

各担当委員より、平成 30 年度事業計画書の各事業項目について下記のとおり説明が行われ、審議の結果、承認された。

(1) 学術雑誌の編集と発行：1) 日比野編集委員長より、粘土科学の編集と発行計画について説明が行われた。2) 蛭名編集委員長より、Clay Science の編集と発行計画について説明が行われた。

(2) 研究発表会・見学会等の開催：丸茂討論会実行委員長より、第 61 回粘土科学討論会(富山大学)の実施計画について報告が行われた。次に、山崎委員より、第 62 回粘土科学討論会(早稲田大学)についての説明が行われた。

(3) シンポジウム・セミナーの開催：田村企画委員長より、第 61 回粘土討論会でのシンポジウム実施計画及び第 62 回粘土討論会でのシンポジウム計画について説明が行われた。

(4) 参考粘土試料：鈴木参考粘土試料委員長より、参考粘土試料の頒布計画が説明された。

(5) 広報：河野常務委員長より、ホームページの運用計画について説明が行われた。

(6) 渉外：河野常務委員長より、渉外関係の活動計画が説明された。

(7) 表彰：河野常務委員長より、平成 30 年度会賞等の受賞候補者の募集及び選考計画についての説明が行われた。

(8) 研究促進：河野常務委員長より、研究グループ活動援助事業の実施計画が説明された。

(9) 庶務：篠原庶務委員より、他学会等との連絡及び協力の実施、関連学協会への共催及び協賛の実施、会員動向の把握についての説明が行われた。

(10) 学会誌等の電子化推進：河野常務委員長より、粘土科学、Clay Science、粘土科学討論会講演要旨集の J-STAGE 登録、Clay Science の電子ジャーナル化、粘土科学討論会講演要旨集の電子

化についての説明が行われた。

(11) 常務委員会及び理事会：河野常務委員長より、常務委員会及び理事会の開催計画の説明が行われた。

4. 平成 30 年度収支予算

志々目会計委員より、平成 30 年度予算書についての説明が行われ、審議の結果、承認された。なお、粘土科学及び Clay Science の発行部数を 600 部から 550 部に減らすことが提案され、承認された。

5. 平成 29 年度総会の日時、場所、議案及びその内容

河野常務委員長より、平成 29 年度総会の日時、場所、議案及び各議案の内容について次のとおり説明が行われ、承認された。日時：平成 29 年 9 月 25 日（月）11:30～12:30、場所：富山大学 五福キャンパス共通教育棟 C11 富山市五福 3190)、議案：第 1 号議案 平成 29 年度事業報告、第 2 号議案 平成 29 年度収支決算報告及び監査報告、第 3 号議案 日本粘土学会定款の一部変更について、第 4 号議案 平成 30 年度事業計画、第 5 号議案 平成 30 年度収支予算、第 6 号議案 名誉会員の推薦、報告事項：1. 事務局について、2. Clay Science の電子ジャーナル化について、3. 粘土科学討論会講演要旨集の電子化について、4. 平成 29 年度学会賞等の受賞者、5. 第 61 回粘土科学討論会の開催状況、6. その他

6. 平成 29 年度総会の準備、進行、登記のスケジュール

河野常務委員長より、平成 29 年度総会の準備と進行等について説明が行われた。次に、定款の変更登記に必要な総会議事録及び理事会議事録の作成と登記までの手続きの進め方について説明が行われた。以上について審議した結果、提案のとおり承認された。

7. 平成 29 年度表彰式の進行

河野常務委員長より、平成 29 年度表彰式の進行について説明が行われ、承認された。

8. 標準試料と参考試料の名称統一について

鈴木参考粘土試料委員長より、標準試料と参考試料の名称が混在しているため、参考試料に名称を統一することが提案され、承認された。次に、河野常務委員長より、この名称統一に伴い「標準粘土試料委員会規程」を「参考粘土試料委員会規程」に変更し、第 1 条の 1、2、3 項中の標準試料の名称を参考試料に統一すること。さらに「常務委員会規程」第 3 条 2 項の標準粘土試料委員長を参考粘土試料委員長に、標準粘土を参考粘土試料に変更することが提案され、承認された。

9. 第 61 回粘土科学討論会について

丸茂実行委員長より、第 61 回粘土科学討論会準備状況について説明が行われ、能登半島見学会の参加希望者が 19 名で定員に満たないことが報告された。また、現状で見学会を実施した場合には見学会経費が赤字となるため、赤字分については討論会関係以外の予算から支出することの提案がなされた。これらについて審議した結果、見学会は実施に向けて準備を進めることとし、引き続き参加者の追加募集を行って赤字とならないように努めることとした。なお、最終的に赤字となった場合は理事会で審議することとした。

報告事項

1. 粘土科学討論会講演要旨集の ISSN 正式通知書について

河野常務委員長より、国会図書館から粘土科学討論会講演要旨集の ISSN の正式通知書が届いたことの報告が行われた。

2. 事務局管理書類等の引越しについて

志々目会計委員会委員より、事務局管理書類等の引越についての説明が行われた。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、常務委員長及び監事がこれに記名押印する。

平成 29 年 9 月 13 日

一般社団法人日本粘土学会常務委員会

常務委員長 河 野 元 治 ⑩

監 事 山 崎 淳 司 ⑩